
詩歌燐々

夢野ユーマ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

詩歌燐々

【著者名】

N5031N

【作者名】 夢野コーマ

【あらすじ】

詩歌に寄せる想い。詩歌談義。

歌人の長生き

穂村弘の「本当は違うんだ日記」（近年出色の面白さだった。）を読んでいたら、面白いくだりがあつた。

歌人は元気で長生きで好色で食欲旺盛で、纖細な穂村さんはその中でちょっと苦しんでいる。

しかし、確かに歌人はすごい長生きか、若くして天才的な作品を残し、非業の死をとげるかの両極端が多い。

前者は古代だと俊成、定家。近代だと土屋文明、土岐善磨、まだ生きている人なら岡部桂一郎先生は95才！

しかし頭よく、ちょっと意地悪な穂村さんは歌人は元気で優しいが、学歴みたいな意味でなく世間のことには無知で馬鹿であるとバッサリ切っていた。

うーん、その分析正解なり！

俊成や定家が源平興亡の時代に歌を利用して金儲けをしていったのもかく、土岐善磨や斎藤茂吉が第二次大戦が終わった時、日本が悪い国なんて思わなかつたと涙を流している。とか言つているのはちょっと愚かだろう。太宰治が「如是我聞」で追及していた戦争に協力していた文豪がいると言うのは一人なんじゃないか？

また土屋文明の安保闘争で亡くなつた青年たちへのレクイエムも真面目だけど、やはりちょっと弱々しい。

岡部桂一郎先生は現実全く無視の幻想美である。

ここで問題が私である。私も歌人のはしぐれである。作品を残し非業の死をとげるチャンスは終わりかけている。

太宰治の「斜陽」では美しく優しい人は早死にし、悪人は長生きする。とある。

どうしよう。先輩には「100年後もいるわよ!」と一喝された。

歌から学んだこと

大学時代、急に歌を作り出した。三角先生という王朝文化の研究をなさっている教授の授業にマンガ雑誌を持った男の子がドタバタと走り込んできた。それが面白く「初夏の午後マガジン持つて教室に遅刻してくる君の青春」という歌を作った。

不思議なことに何かどんどん歌は出来て、けつこう新聞に載った。しかし、その中で学んだことがある。技巧を否定するという単純な意味ではないが、何となく肩に力が入った自信作みたいなのは落選しやすく、（こんないいかな？）というよつね軽い作品が載ることが多かった。選者の俵万智さんの個性もあるのだろうが、私はより一般的に芸術において、作品は作者の手を離れたらどういう評価を受けるかは分からないという普遍の真理を学んだ。

しかし、それに圧倒されるよりは、何が受けるかは分からないんだからちょっとでも思いついたことはなるべく書こうという前向き、積極的にとらえるようにした。

生徒に論文を書かせる時も何でも思いついたことは積極的に書きなさい、と教えている。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5031n/>

詩歌燐々

2010年10月12日10時04分発行